

～「R2 JAなのはな米品質向上運動」実施中～ なのはな米1等比率95%以上!!

現在のコシヒカリの生育は、茎数、葉色は概ね平年並みですが、葉齢の展開は2日程度早くなっており、**幼穂形成期(幼穂長2mm)は7月9日頃**と見込まれます。今後も生育状況を的確に把握し、適切な穂肥施用で過剰着粒を防ぐとともに、水管理や防除を徹底して品質の向上に努めましょう。

1. コシヒカリの穂肥

(1) 肥効調節型基肥肥料による栽培の場合

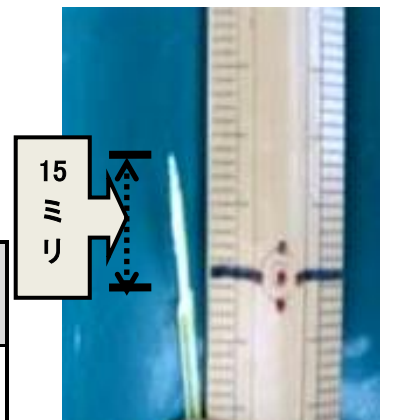
出穂の7～10日前(7/20～23頃)に必ず葉色を確認し、**葉色が4.0(砂壤土は4.2)以下**の場合は、出穂の3日前までに追肥3号を5～7kg/10a施用し、登熟期間中の稲体活力を維持しましょう。

(2) 分施栽培の場合

- 1回目の穂肥 **幼穂長15mm(2mmを確認して8日頃)**に施用
→葉色が濃く、草丈が長い場合は施用を控えましょう!
- 2回目の穂肥 1回目の7日後を目安に施用
→登熟期の稲体活力維持のため、基準量を確実に施用しましょう。

表1 穂肥施用の目安 (分施の場合)・・・肥料：追肥3号

1回目穂肥施用時(幼穂長15mm)の生育状況				1回目穂肥	2回目穂肥
生育量	葉色	草丈	稲の姿	7月17日頃(※5/11田植え)	(1回目穂肥の7日後)
適正	3.6程度	82cm未満	スッキリ	10kg/10a以内	10～13kg/10a
やや過剰	3.7～3.9	83～86cm	ややメラつく	7kg/10a程度 ※2～3日遅らせる	
過剰	4.0以上	87cm以上	メラメラ	施用しない	10kg/10a以内



1回目穂肥施用時の幼穂長

2. 水管理

《幼穂形成期～出穂期まで》
～飽水管理で根の活力を維持!～
足跡に水が残る程度になったら入水し、常に土が潤った状態を保ちましょう



水を切らさない

《出穂期以降》
～湛水管理で登熟を向上!～
出穂期から20日間は**湛水状態**(田面が出ない程度)を保ち、稲体の活力を維持しましょう。



フェーン時は事前に入水を!



3. 病害虫防除

今年も斑点米カメムシ類が多発しています。確実に防除を行いましょう!!

畦畔等の草刈りを励行するとともに、全品種2回の基本防除を徹底し、斑点米の発生を防ぎましょう。

表2 防除時期の目安

体系	防除時期	薬剤名	散布量	てんたかく(7/16出穂)	コシヒカリ(7/30出穂)	てんこもり(8/4出穂)
粉剤	穂揃期	ビームキラップジョーカー粉剤 DL	3～4kg/10a	7/18～20	8/1～3	8/6～8
	傾穂期 (1回目散布の7日後)	トレボンスター粉剤 DL	3～4kg/10a	7/25～27	8/8～10	8/13～15
粒剤	出穂10日前頃	フジワンラップ粒剤	4kg/10a	7/6頃	7/20頃	7/25頃

※各品種の田植時期は、てんたかく:5/4頃、コシヒカリ:5/11頃、てんこもり:5/10頃で推定

《留意事項》

- ・田植日等により出穂期が異なります。防除前に必ずほ場の出穂状況を確認しましょう。
- ・防除の際は、農薬の使用基準を正しく守るとともに、農薬飛散防止のため、風のない時に散布しましょう。